

特別支援学級（知的・自情） 生活単元学習・自立活動 指導案

日時 令和5年11月14日（火）公開授業Ⅰ

児童 知的障がい学級在籍 8名

自閉症・情緒障がい学級在籍 3名 合計11名

指導者 T1 中野智康 T2 村井宣之 T3 日影館美香

1 単元名 スクラップブックをつくろう

2 単元の目標

〔知識・技能〕

文字や記事に興味をもち、自ら読んだり、書いたりすることができる。

〔思考力・判断力・表現力等〕

スクラップ作りを通して、他者と協力することでコミュニケーション能力を高める。（自立活動）

完成したスクラップブックを紹介することができる。（生活単元学習）

〔学びに向かう力、人間性等〕

自らの方法や手段で考えたり、活動に取り組んだりすることができる。

3 単元の評価規準

知識・技能	思考力・判断力・表現力等	主体的に取り組む態度
① 自分のテーマに合った記事を探し出している。	① 見通しをもちながら、計画的に活動に取り組んでいる。（自立活動） ② 完成したスクラップブックを紹介している。（生活単元学習）	① 自分のやりたいことを相手に伝えたり、活動の中で相手に依頼をしたり、他者と関わったりしている。

4 単元について

(1) 教材観

本単元における重点指導事項は、自立活動については、特別支援学校小学部・中学部学習指導要領第7章の第2の3人間関係の形成(1)「他者とのかかわりの基礎に関すること」、第7章の第2の6の(1)コミュニケーションの基礎的能力に関すること。生活単元については、小学校学習指導要領、国語、第1学年及び第2学年の内容読むこと(2)のオ「読んだ本について、好きなところを紹介すること」と、社会、第5学年の内容(4)ア「放送、新聞などの産業と国民生活の関わりについて」である。

新聞の中には様々な内容の記事がある。本単元では、新聞の中から自分のテーマに合わせた記事を見つける活動を通して、コミュニケーションのツールである文字や言葉、文にたくさん触れるように学習を進めたい。また、記事を読んでわからないことを教師や友だちに聞く活動を通して、実際に他者とのコミュニケーションを図ることで、相手に伝えるための話し方を学ぶことができるのではないかと考える。自立活動では使いたい新聞記事が裏表になっていた場合の譲り合いなどでコミュニケーションの機会が増えること、生活単元学習では、より多くの友だちから感想をもらえることや、スクラップブックを作るにあたって参考にできるアイデアが増えるという利点が考えられることから、合同での学習機会を設定した。集

団での活動を通し、コミュニケーションを図りながら、それぞれのスクラップブックを完成させていきたい。生活単元学習では、年間を通して「個人ミュージアムを作ろう」の単元を設定している。その内容の一つとして2学期は「スクラップブックを作ろう」を扱う。

(2) 児童観

本校の特別支援学級は、知的障がい学級1学級、自閉症・情緒障がい学級1学級の計2学級で編成されている。知的障がい学級の8名（3年生2名、4年生1名、5年生2名、6年生3名）は、学年や実態も様々であることから、個に応じた時間割や指導形態を工夫している。自閉症・情緒障がい学級の3名（2年生1名、3年生1名、4年生1名）については、当該学年の教育課程に準じて学習を進めながら、環境の変化への対応、感情コントロール等それぞれの課題改善・克服に向けて日々学校生活を送っている。2つの学級には学年が違う複数の児童が在籍しており、合同での活動時間を確保することは難しい現状であるが、児童たちは互いの教室を行き来するなど交流も見られ、互いの良さを見つけたり、互いに刺激し合ったりする姿も見られる。このような様子から、児童の得意分野を活かし、活躍できる場を拡大すること、違う価値観に触れること、互いを理解することが、他者との関りを広めていくことにつながると考え、本単元での2学級合同の学習機会を設定した。

(3) 指導観について

児童が興味をもっている内容の①新聞記事を集める②スクラップブックを作る③発表をするの3つの目標を設定し、準備から片付けまでの活動を通して、主体的に活動する力・文字や文章を読む力・コミュニケーションの基礎に関する力を高めていく。また、スクラップブック作りを通して相手に内容を伝えることや、分からないことを教師や友達に聞く等のコミュニケーションの力を育てていきたい。そのために、児童が興味をもって活動に取り組むことができるように、ゲームや遊びの要素を取り入れながら指導にあたりたい。

5 研究主題との関わり

NIEの視点 **4**読む力、書く力が高まり、多様な表現方法が身につく

本単元の目標は本校の研究主題「自分の考えをもち、深め、伝え合う子どもの育成」を目指して設定した。スクラップブック作りを通して、基礎的なコミュニケーションを体験したり、コミュニケーションの基礎となる言語能力を高めたりしていくことができると考えた。

6 単元の指導と評価の計画（計14時間）

時	ねらい	主な学習活動	評価の規準
1	学習の見通しを立てる。	<ul style="list-style-type: none"> 自分のテーマを決める。 様式に沿った書き方を確認する。 発表会に向けての意欲をもつ。 	[思考力・判断力・表現力等] 完成までの見通しをもち、スクラップブック作りへの期待をもっている。

10 本時 8/10	自分のテーマに沿ったスクラップシートを作成する。	<ul style="list-style-type: none"> ・スクラップ記事を選ぶ。 ・記事を読んで感想を書く。 ・レイアウトを考え台紙に貼る。 <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block;">NIE 視点 4</div>	<p>〔知識・技能〕</p> <p>テーマにあった記事を選んでいる。</p>
2	スクラップブックの表紙とあとがきを書き、製本する。 発表の練習をする。	<ul style="list-style-type: none"> ・スクラップブックの表紙を作る。 ・あとがきを書く。 ・背表紙をつけ、製本する。 ・発表の練習をする。 <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block;">NIE 視点 4</div>	<p>〔知識・技能〕</p> <p>正しい表記で表紙、あとがきを書いている。</p> <p>〔主体的に取り組む態度〕</p> <p>友だちと協力しながら製本している。</p> <p>〔思考力・判断力・表現力等〕</p> <p>友だちにわかりやすい発表をめざしている。</p>
1	発表会をする。 スクラップブックの掲示をする。	<ul style="list-style-type: none"> ・友達や先生方に聞いてもらう。 ・廊下に見やすさを工夫して掲示する。 ・友だちと作品を見合う。 <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block;">NIE 視点 4</div>	<p>〔主体的に取り組む態度〕</p> <p>友だちの頑張りや自分のよさに気付いている。</p>

7 本時の指導

(1) 本時の目標と評価規準

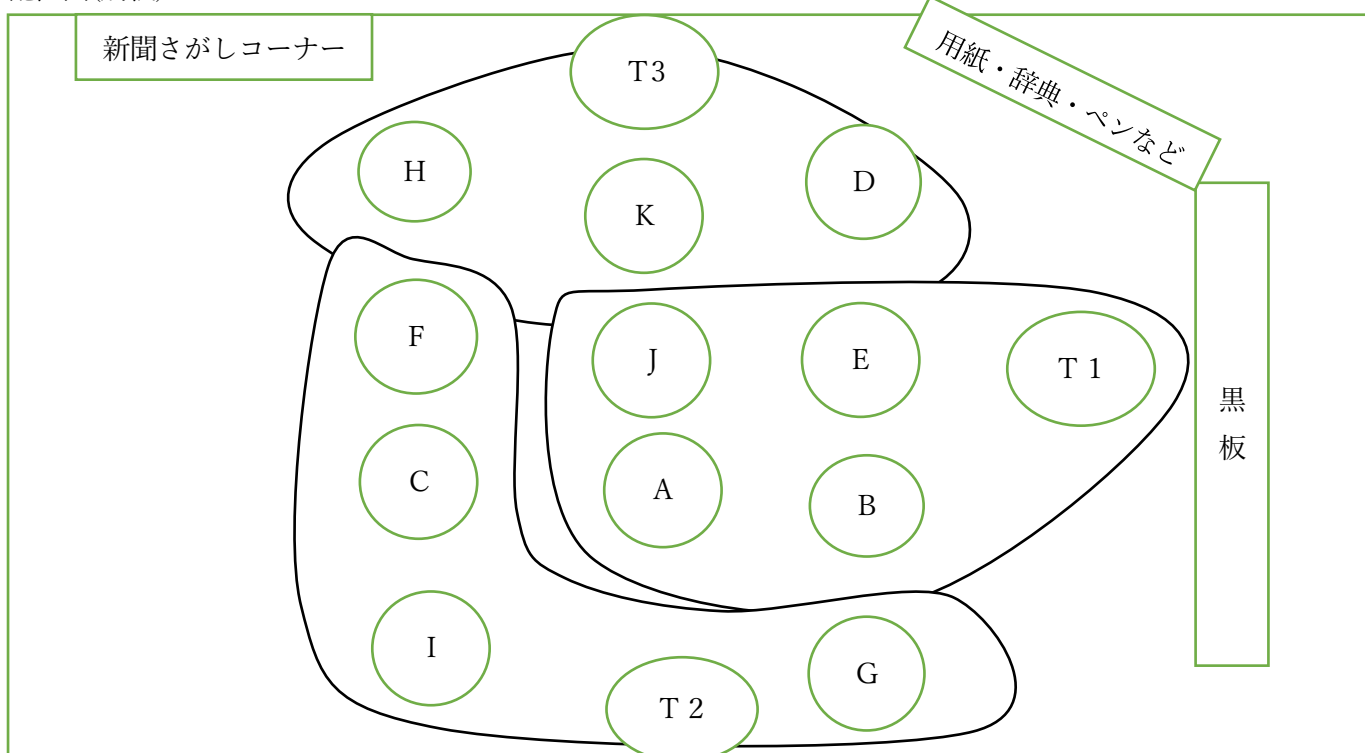
生活単元学習（知的）	自立活動（自閉情緒）
<p>1. 目標</p> <p>(1) 自分のテーマに興味をもって、記事を読んだりスクラップシートを作成したりする。</p> <p>(2) わからないことや困ったことを教師や友だちに聞くことができる。</p>	<p>1. 目標</p> <p>友だちや教師と関わりをもちながら活動することができる。</p> <p>自立活動3－（1）他者との関わり基礎</p> <p>自立活動6－（5）状況に応じたコミュニケーション</p> <p>(1) わからないことや困ったことを教師や友だちに聞くことができる。</p> <p>(2) 見通しをもって活動する。</p>
<p>1. 評価規準</p> <p>(1) 自分の興味がある記事を見つけ、その内容について記事を読み、スクラップシートを作成することができたか。</p> <p>(2) 教師や友だちと関わり合いながら、活動することができたか。</p>	<p>2. 評価規準</p> <p>(1) 教師や友だちに対して主体的な関わりができたか。</p> <p>(2) 見通しを持つ中から一つでも活動することができたか。</p>

※個別の実態と評価規準については、別紙にて当日配布

(2) 展開 (9 / 14)

段階	学習活動	主な発問と指示	○留意点 ◎支援 ◇評価
導入 5分	1 本時の活動を確認する。 2 課題を確認する。	○学習内容と順番を確認する。 ・今日の課題を確かめましょう。 スクラップシート作りをがんばろう。	○作業内容をボードに記入しておく。 ・スクラップシートの進み具合を確認する。
展開 30分	3 ビジョントレーニングをする。 (1) 眼球運動をする。 4 文字・数字に親しむ活動をする。 (1) 新聞から文字を探す。(あいうえお) 5 スクラップシート作りをする。	○ビジョントレーニングの方法を確認する。 ・目の準備運動をしましょう。 ・先生が言う順番に目を動かしましょう。 ○文字に親しむ活動を確認する。 ・新聞から、「あいうえお」を探しましょう。 ・いくつ見つけられたかな。数を教えてください。 ○スクラップブック作りの活動を確認する。 ・わからないところは友だちや先生から聞きましょう。	○教師の指示を聞いて目を動かすことができるように、四隅に色シールを貼る。 ・速さは個に合わせる。 ・上下、左右、斜めに運動を行う。 ○3分間でいくつ見つけられるか挑戦させ、各自のがんばりをほめる。 ◎児童がコミュニケーションを図りやすいように小グループで活動する。 ◎必要に応じ、読むときは字を指で追わせ一緒に読む。要約の際は言葉の意味を説明する。書くときは手本を見せる。
終末 10分	6 完成したものを発表する。 7 感想を発表する。 8 次時の予告を聞く。	NIE 視点 ④ ・今日のスクラップシート作りもがんばりましたか。 ・完成して発表練習まで終わった人は発表してください。 ・感想を発表しましょう。 ・次の時間は続きをやります。スクラップシートをたくさん作って、完成までがんばりましょう。	◇[知識・技能] テーマにあった記事を選んでいる。 ○最初は下の学年から発表し、最後は上の学年が発表する。

※研究会終了後は返却をお願いします



個別の実態と評価規準

	児童の実態 (個別の指導計画の目標含む)	㊦単元の目標 ㊦指導の手立て	評価規準
ま な び A 3名			
A 2 男	<ul style="list-style-type: none"> 好きなことは意欲的に取り組む。 集中が長く続かない。 周囲を気にせず行動する。 飽きると、勝手なことを始めたり活動できなくなったりする。 	<ul style="list-style-type: none"> ㊦最後まで集中して活動することができる。 ㊦集中が続かない場合は、教師が記事を提示して気分転換を図る。 	周囲と関わりながら活動している。
B 3 男	<ul style="list-style-type: none"> 好きなことは意欲的に取り組む。 活動に興味がわかかないと拒否したり寝てしまったりする。 眠い時ややりたくない時は、活動できなくなる。パニックの症状が見られる場合もある。 	<ul style="list-style-type: none"> ㊦周囲とコミュニケーションをとりながらスクラップシートを作る。 ㊦記事選びは教師と一緒にいき、活動に意欲をもたせる。 ・調子が悪くても、何か一つは活動に参加させたい。 	周囲と関わりながら活動している。
C 4 男	<ul style="list-style-type: none"> 文章を読むことは得意である。 大勢の人を怖がり、入っていけない。 わからないことがあっても、黙っている。 吃音があり、みんなの前で話すことに抵抗がある。 	<ul style="list-style-type: none"> ㊦周囲とコミュニケーションをとりながらスクラップブックを作る。 ㊦周囲が気になっている場合は、パーテーション等で仕切る。 	必要なコミュニケーションをとりながら活動している。

ま な び B 8名			
D 3 男	<ul style="list-style-type: none"> ・発表意欲が旺盛である。 ・感情の起伏が激しい。できないと感じたり難しいと感じたりすると我慢できずにパニックの症状が見られる。 	<ul style="list-style-type: none"> ㊦興味関心をもち続けてスクラップブックを作る。 ㊦パニックの症状がみられた場合は別室でクールダウンを図る。 	あきらめずにスクラップブック作りに取り組んでいる。
E 3 男	<ul style="list-style-type: none"> ・静かに学習に取り組むことができる。 ・自分の考えや思いを表現することに苦手意識を持っている。 	<ul style="list-style-type: none"> ㊦スクラップブック作りを通して、自分の思いや考えを話す。 ㊦発表のリハーサルの機会を設ける。 	自分の思いや考えを話している。
F 4 女	<ul style="list-style-type: none"> ・物事に粘り強く取り組むことができる。 ・漢字の読み書きに苦手意識が強い。 	<ul style="list-style-type: none"> ㊦読める漢字、書ける漢字を増やす。 ㊦誤表記の文字があった場合は正しい文字を確認させる。 	漢字を正しく書いている。
G 5 男	<ul style="list-style-type: none"> ・ひらがなの読みは大体できる。 ・周りの状況に関係なく、気になることがあるとすぐに行動に移してしまう傾向がみられる。 	<ul style="list-style-type: none"> ㊦手本を見ながらスクラップシートへひらがなで書く。 ㊦手本を見せて見通しを持たせる。 	手本を見て、見出しや紹介文を書いている。
H 5 男	<ul style="list-style-type: none"> ・物を作ることが好きである。 ・周りの状況に関係なく、自分の思いや考えを話してしまう。 	<ul style="list-style-type: none"> ㊦ていねいに記事を貼り付け、ていねいに文字を書く。 ㊦貼り付ける記事を大きさを考えながら切り取らせる。 	ていねいに見出しや紹介文を書いている。
I 6 男	<ul style="list-style-type: none"> ・聴覚的な処理、言葉の理解や操作は全般的に得意である。 ・形の操作、空間的な情報の把握や処理は苦手としている。 	<ul style="list-style-type: none"> ㊦文字のバランスや記事の切り抜きをバランスよく貼り付ける。 ㊦いくつかの手本から自分の手本としたいものを決めさせる。 	バランスの取れたスクラップシートを作っている。
J 6 女	<ul style="list-style-type: none"> ・発表意欲は旺盛である。 ・漢字の習得に苦労している。 	<ul style="list-style-type: none"> ㊦正しい漢字表記で、スクラップシートを書くことができる。 ㊦誤表記の文字があった場合は正しい文字を確認させる。 	漢字を正しく書いている。
K 6 女	<ul style="list-style-type: none"> ・自分の思いや考えを伝えることができる。 ・集中力が持続できない場面も見られる。 	<ul style="list-style-type: none"> ㊦興味関心をもち続けてスクラップブックを作る。 ㊦完成したスクラップシートのイメージをしっかりと持たせる。 	あきらめずにスクラップシートの紹介文を書いている。

(スクラップシート台紙)

表題

記事を貼る

かんそう

